

障害のある人もない人も共に生きる社会へ

みんなでつくる

共生社会

毎年12月3日～9日は障害者週間です。

～共に生き、共に考える、明日を～



全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するためには、障害及び障害のある人に対する国民の理解と関心を広く深める必要があります。

政府では、毎年12月3日～9日を「障害者週間」と定め、障害のある人の自立と社会参加の支援等に関する活動をはじめ、様々な取組・行事を行うこととしています。

内閣府における障害者週間関連行事について

1 「障害者週間」作品展

期間：令和4年 12月3日(土)～9日(金)
10:00～ 20:00

会場：スクエア ゼロ(JR東京駅改札内地下1階)
※内側右ページ下の案内図をご確認ください。

2 「障害者週間」ワークショップ

期間：令和4年 12月3日(土) 10:00～16:00
4日(日) 11:00～17:00

会場：スクエア ゼロ(作品展と同会場)

3 「障害者週間」オンラインセミナー

期間：令和4年 12月3日(土)～28日(水)
配信場所：内閣府ホームページ



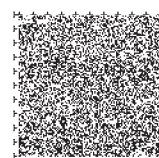
国、地方公共団体等における障害者週間関連行事について

毎年、障害者週間の期間を中心に、国及び地方公共団体等が、障害者週間の趣旨に沿った障害のある人の自立と社会参加の支援等のための様々な取組を実施します。
詳しくは、内閣府ホームページに掲載しています。是非、お近くのイベント・行事等にご参加ください。

内閣府ホームページ：
<https://www8.cao.go.jp/shougai/kou-kei/index-kk.html>



内閣府



①「障害者週間」作品展

入場無料

全国から募集した「障害者週間のポスター」の全推薦作品の原画(79点)及び「心の輪を広げる体験作文」の最優秀賞作品(4編)を展示します。

日時 令和4年12月3日(土)～9日(金)10:00～20:00

会場 スクエア ゼロ(JR東京駅改札内地下1階) **主催** 内閣府

※右ページ下の案内図をご確認ください。

令和4年度「障害者週間のポスター」最優秀賞作品

【小学生区分】



えがお きな みやび
「その笑顔をいつまでも」 喜納 雅

沖縄県 名護市立名護小学校(6年)

【中学生区分】



じゆう うご しゃ かい みずいで ひな た
「自由に動ける社会へ」 水出 向日葵

群馬県 高崎市立第一中学校(3年)

令和4年度「心の輪を広げる体験作文」最優秀賞作品

心の輪を広げる体験作文 審査講評 令和4年度「心の輪を広げる体験作文」審査委員会委員長 三田 誠広

小学生
区分

「一緒に歩いていきたい」 浅沼 稟佳

茨城県 茨城大学教育学部附属小学校(5年)

盲導犬の訓練を受ける前の仔犬を一年間育てるボランティアを家族とともに体験した小学生の話です。ただ仔犬とともに暮らしただけでなく、盲導犬というものに興味をもち、視覚障害者の方にネットでインタビューして盲導犬の役割を知るまでの経過が描かれています。このような経過で健康者と障害者のつながりができるのはすてきなことだと感じました。

中学生
区分

「ショウコさんと私と」 榎 奏子

秋田県 秋田大学教育文化学部附属中学校(2年)

絵画教室で出会った知的障害者の女性のようなすを描いたものです。自由奔放に生きながら魅力的な絵を描く女性の姿が、ごく自然な賛嘆につながっていて、偏見のない書き手の受け止め方に共感できますし、何よりもこのショウコさんという女性像に感動しました。

高校生
区分

「彼女の「すべて」」 小林 咲葵

東京都 学習院女子高等科(1年)

高校生部門の作品ですが、描かれているのは中学生のころの思い出です。ネットの交流サイトで注意欠如・多動性障害(ADHD)の女性と親しくなり、話題が次々に変わっていく彼女の話しぶりに当惑したりもするのですが、始めのうちは相手の障害を意識していた書き手がしだいにそうした先入観から自由になっていき、一人の人間としてつきあえるようになるさまがいきいきと描かれています。

一般
区分

「苦しくても、苦しくても」 銘苅 幸也

沖縄県

学生のころに強迫性障害の診断を受け、わずかな光や音が苦痛をもたらし、唾を飲み込むことも苦痛だという症状に悩まされ、引きこもり状態になっていた書き手が、家族や支援者に支えられて回復していくさまが描かれています。当事者でなければわからない苦しみ切実に伝わってくる作品です。

②「障害者週間」ワークショップ

参加無料

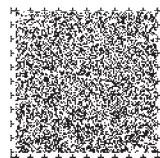
体験をテーマに、障害の特性を知っていただくための疑似体験、障害者のための器具やバリアフリーに配慮された商品の実演や使用体験などのワークショップを開催します。

■ワークショップに関するお問い合わせは各主催団体まで直接ご連絡ください。

※今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、中止させていただく場合がございます。

中止の場合は、内閣府ホームページにてお知らせします。

(<https://www8.cao.go.jp/shougai/kou-kei/r04shukan/main.html#workshop>)



日時 令和4年12月3日(土)10:00～16:00 ～ 4日(日)11:00～17:00

会場 スクエア ゼロ(JR東京駅改札内地下1階) **主催** 各団体等

1 特定非営利活動法人 ホープ

3日(土)「手話・アイマスク体験に挑戦しよう!」

10:00



15:30

TEL : 03-3221-4266 e-mail : office@hope-npo.org

FAX : 03-6912-3234 URL : <https://hope-npo.org/>

手話を通して聴覚障害者に、そしてアイマスク体験で視覚障害者に対して理解を深めよう。

2 公益財団法人 日本盲導犬協会

3日(土)「人と盲導犬が笑顔で歩く社会へ ～盲導犬のこと、もっと知って～」

12:00



16:00

TEL : 045-590-1595 e-mail : info@moudouken.net

FAX : 045-590-1599 URL : <https://www.moudouken.net/>

目の見えない人・見えにくい人が歩く時の大切なパートナーである盲導犬。

盲導犬・視覚障害クイズや音声式計量器を使っの計量体験を通じて、盲導犬や視覚障害について理解を深めてみませんか。

盲導犬ユーザーが参加するデモンストレーションでは、体験談を交えながら盲導犬との生活についても紹介します。

3 市川手をつなぐ親の会 キャラバン隊『空』

4日(日)「不自由さを体験してみよう!」

11:00



16:00

TEL : 090-3817-5278 e-mail : mdr552001@yahoo.co.jp

FAX : 047-371-6996 URL : <https://ameblo.jp/kyarabantai-sora/>

軍手の手袋をはめて折り紙を折るとどんなことに気づくでしょうか?早くできなくてイライラしてしまう、綺麗にできなくてがっかりしてしまう。そんな時に待ってくれるとあせらずにできた!と嬉しくなります。ほめてくれると自信が持てます。障がいのある人の不自由さを体験し理解を深めましょう。偏見のない社会を目指して。

4 東京大学先端科学技術研究センター 当事者研究分野熊谷研究室

4日(日)「自閉スペクトラム症の視覚世界を疑似体験しませんか?」

14:00



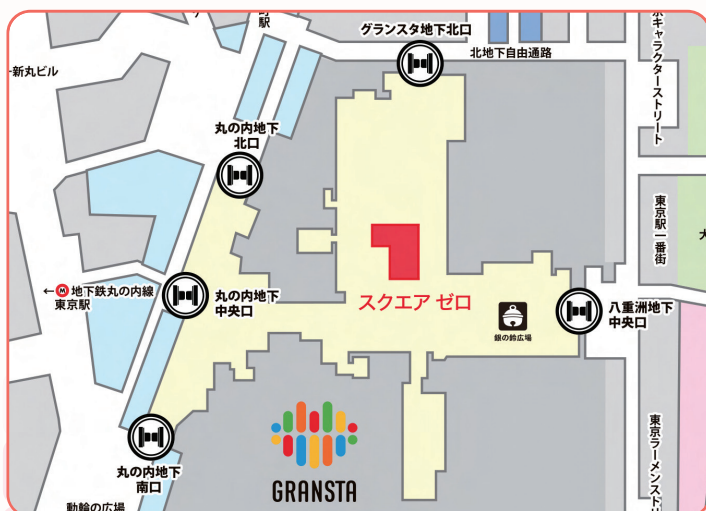
17:00

e-mail : info@touken.org URL : <https://touken.org/>

自閉スペクトラム症の特徴の一つとして、知覚過敏や知覚鈍麻といった非定型な知覚があることが分かっています。

本企画では、自閉スペクトラム症の人々が見ている視覚世界を疑似体験できる「VR体験」、「ミニレクチャー」、

「当事者が語るフィルム上映」を行います。発達障害やD&Iにご関心のある方、ぜひご参加ください。



東京駅イベントスペース
「スクエア ゼロ」(JR東京駅改札内地下1階)

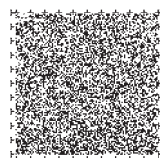
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

JR東京駅B1改札内のほぼ中心、新改札「グランスタ地下北口」からすぐです。

東京駅乗り入れ路線情報

- JR「東海道線、山手線、京浜東北線、横須賀線、総武本線、京葉線、中央線、上野東京ライン」
- 地下鉄「東京メトロ丸ノ内線」

※丸ノ内線でお越しの方は、一度改札を出ていただき、丸の内地下中央口からJR東京駅改札内にお入りください。その際、入場券(140円)の購入が必要です。



③「障害者週間」オンラインセミナー

視聴無料

障害及び障害のある人に関する理解を促進するため、オンライン配信により、障害者週間の趣旨にふさわしいセミナーを各団体が開催します。

- 視聴は無料です。※通信費は自己負担となります。
- 講演内容に関するお問い合わせは各セミナーの主催団体まで直接ご連絡ください。
- 視聴に関するお問い合わせは内閣府までご連絡ください。



配信期間

令和4年12月3日(土)～28日(水)

主催

各団体等

配信URL

<https://www8.cao.go.jp/shougai/kou-kei/r04shukan/main.html#seminar>

1 公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会

<https://www.jsrpd.jp/>

発達障害児の読みを支援するデジタル図書「マルチメディアデージー図書」

読みの困難がある児童生徒(約15,000)向けにデジタル教科書(デージー教科書)を製作・提供している。文部科学省の進めるGIGAスクール構想によるパソコンでも再生できる新配信システムの運用を開始した。教科書で推薦されている副読本についても、デージー版の読み物を製作・提供している。デモを含めその報告を行う。

TEL : 03-5273-0601

FAX : 03-5273-1523

e-mail : soumu@dinf.ne.jp

2 公益社団法人 日本発達障害連盟

<http://www.jlidd.jp/>

こどもをめぐるって考える～障害とこども家庭庁～

令和5年4月1日に「こども家庭庁」が創設されます。また、こどもの権利を定めた「こども基本法」も同じく令和5年4月1日から施行されます。日本発達障害連盟の構成団体4団体より、公式に発表されている情報を基に「こども家庭庁」に関連する障害のある子どもたちに関する内容を、発達障害連盟の構成団体として、共生社会の視点を盛り込みながらそれぞれの視点での発表を行います。

TEL : 03-5814-0391

FAX : 03-5814-0393

e-mail : info@jlidd.jp

3 特定非営利活動法人 全国言友会連絡協議会

<https://www.zengenren.org>

吃音の理解と支援

吃音(きつおん)の基本概念と特徴について触れた上で、どのような支援が必要なのかを概説する。また、演者自身の吃音に対する体験を語ることで、より深い啓発の機会としたい。

TEL : 03-6908-6333

FAX : 03-6908-6345

e-mail : info@zengenren.org

4 特定非営利活動法人 全国視覚障害者情報提供施設協会

<https://www.naiiv.net>

読書が困難な方のためのインターネット図書館「サピエ図書館」のご紹介

視覚障害や読字障害、肢体不自由などの理由から活字の本をそのままでは読めない方々が、全国の図書館が所蔵している約80万タイトルの点字図書や録音図書などを利用することのできるサービス「サピエ図書館」。その概要と利用方法について、機器操作の実演も交えてご紹介いたします。

TEL : 06-6441-1068

FAX : 06-6441-1066

e-mail : zensijokyo-jimu@naiiv.net

5 特定非営利活動法人 日本トゥレット協会

<https://www.tourette-japan.org>

チック・トゥレット症を知っていますか?～正しい理解と支援のために～

トゥレット症は、運動チックと音声チックの両方がある慢性チック症で、発達障害に含まれる。チックは脳神経系の不調を基盤に生じるが、不安や疲労などで悪化する。思春期にピークを迎えて成人期に軽快することが多いが、時に強い症状が続く。学校や職場で理解が得られずに活動への参加が困難なことがあり、社会啓発が強く求められている。

TEL : 045-315-3288

FAX : 045-315-3288

e-mail : info@tourette-japan.org

障害者週間に関するお問い合わせ

内閣府政策統括官(政策調整担当)付
障害者施策担当

〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1
TEL: 03-5253-2111 (代表)

令和4年度「障害者週間」関係事業事務局

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-34-1

株式会社オーエムシー内

TEL: 03-5362-0235 FAX: 03-5362-0121

Email: s-syukan@omc.co.jp

